

栃木地区会だより

第42回国臨協関信支部栃木地区定期総会・研修会に参加して



NHO 栃木医療センター

三村 菜津美

令和元年11月16日(土)にNHO宇都宮病院2階第一会議室にて、第42回国臨協関信支部栃木地区定期総会・研修会が開催されました。来賓として、関東信越グループより北沢臨床検査専門職、国臨協関信支部より岩崎支部長、椎名事務局長にご臨席賜りました。

定期総会では瀬下会長から挨拶をいただき、平成30年度経過報告、令和元年度事業方針案、令和元年度役員選出などが審議されました。初めてこのような総会に参加して、どのように進行されていき承認されるのかを知ることができました。

特別講演では、北沢臨床検査専門職より「伝達事項ならびに会員の皆様に向けて」というご講演をいただきました。国立病院機構や関東信越グループについて、皆様に向けてのお願いなど多くの内容をご講演いただきました。“報連相”の実践や仕事に対する姿勢についてもお話いただき、新人技師としても新社会人としても仕事をして行くうえで重要なことを学ばせていただきました。

学術講演には国立がん研究センター東病院の堀内久実先生をお招きし、「生理検査の緊急報告」についてご講演いただきました。正常な心電図をはじめ、どのような心電図だと連絡が必要なのか実際の

波形を交えて詳しく教えていただきました。生理検査を行っている私にとってどんな波形のとき注意が必要で、どのような対応をとるべきか大変勉強になりました。また、これから検査をするにあたってもっと視野を広げてみなければならないと強く感じました。今回得られた知識を今後の検査に活かしていきたいです。

その後、椎名事務局長より関信支部の活動・事業内容を紹介していただきました。学会を開催したり支部ニュースの発行をしたりさまざまな活動を行っており、私たち会員に多くの情報を配信してくださっていると感じました。

定期総会・研修会を終えた後は、意見交換会が行われ、参加された多くの会員の方々と親睦を深めました。

最後になりますが、お忙しい中ご講演いただいた北沢臨床検査専門職、堀内先生、岩崎支部長、椎名事務局長、そしてこの会を開催してくださいました栃木地区会役員の皆様に厚く御礼申し上げます。

第42回 国臨協関信支部栃木地区会定期総会

特別講演

『伝達事項ならびに会員の皆様に向けて』

関東信託サービス医療担当 栃木地区支部長 北沢 敏夫 氏

学術講演

『生理検査の緊要性』

国立がん研究センター 心臓病センター 室戸 久 氏

